

2015年6月12日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

### リオ州の治安情報第33号

#### レブロン地区で銀行強盗が発生

6月11日（木）午後4時30分頃、リオ市レブロン地区の銀行に強盗が押し入り、現金を奪って逃走しました。

#### 【事件概要】

- ・ 11日午後4時30分頃、レブロン地区アタウルフォ・デ・パイバ通り (AV. Atarulfo de Paiva) とジョゼ・リニャレス通り (R. Jose Linhares) の交差点付近に位置するイタウ (ITAU) 銀行に4人組の強盗 (全員がけん銃で武装) が押し入った。
- ・ 犯人らは警備員から武器を奪うと、同銀行支店長に対して金庫から現金を出すように指示。
- ・ 支店長が現金を手渡すと、そのまま現金を奪って逃走。
- ・ 犯行時間はわずか5分ほどで、銃撃戦は発生せず、けが人もなかった。

#### 【当館から】

邦人の方々が多く居住する南部地区 (ゾナ・スール) では、比較的銀行強盗事件の発生は少ないと言われていますが、このような犯罪は、模倣犯も含めて周辺で連続発生する携行があり、今後、十分な警戒が必要です。

万が一、銀行強盗の現場に居合わせてしまった場合は、以下の点に留意して下さい。

- ・ 落ちついて、犯人の指示に従って下さい。  
(抵抗したり大声で助けを求めたりすると、犯人を刺激し自分だけでなく周りの人達を危険にさらす可能性があります)
- ・ 犯人の顔を凝視しない  
(顔を覚えられたと思われ、攻撃される可能性があります)
- ・ 銃撃戦の発生に備えて、なるべく低い姿勢を取るようして下さい。